



2012年第一回定例会が終了。

2012年5月14日には第一回臨時会があり、今年度の議会内人事が決まりました。また、6月4日から20日まで、17日間、平成24年度府中市議会第2回定例会が開催されました。平成24年度の補正予算等が審議されました。また、今議会から常任委員会の議事録が公開されます。

第1回臨時会

5月14日に行われた平成24年度府中市第一回臨時会では議会内人事の審議が行われました。今回、須山たかしは文教委員会副委員長を拝命致しました。府中市の未来を担う子どもたちの為、教育行政や文化の継承の為にとても重要です。一年間この重責をしっかりと担って参ります。

須山たかし 議会内役職

- ・文教委員会 副委員長
- ・再開発対策特別委員会 委員
- ・議会報編集委員会 委員
- ・三多摩上下水及び道路建設促進協議会 委員

第2回定例会

6月4日～20日まで、府中市議会第2回定例会が開催され、17日間の審議が行われました。今定例会では、平成24年度補正予算の審議が行われました。高野新市長の独自政策として、

- ・市民との対話
- ・防災のまちづくり
- ・行財政改革

の三本柱を挙げられ、補正予算として、4億4478万9千円が増額され、今年度の一般会計予算は総額897億9478万9千円となりました。

府中市も歳入減が問題となっており、如何に無駄を省き効率的な運営をしていくかが求められています。

高野市長の仰る「市民と協働のまちづくり」を進め、積極的に市民参加を促し、市民の安全・安心を守る市政運営を期待しています。

その他、総合計画条例、府中市合流式下水道改善施設設置業務委託契約等、計5議案等が審議され、市民フォーラムは全議案を可決の立場を取り、本会議でも可決されました。

また、議員提出議案で「北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書」、「尖閣諸島の実効支配を進めるための法整備を求める意見書」の2件が審議され、賛成多数で可決されました。

委員会議事録公開

第2回定例会より各常任委員会の議事録公開が始まります。これまで本会議での「委員長報告」として要約は議事録として残っていましたが、委員会でも、こういった発言、質問が出たのか、議案の採否はどうしたか。市側がこういった説明、回答をしたのかが細かく残ります。

ご都合が悪くて傍聴に来られない方にも、開かれた議会をこれからも目指していきます。

議会HPでもご参照頂けますので是非御覧ください！

事務事業点検が行われます

府中市では今年も事務事業点検を行います。私たちの税金がどの様に使われるか、市民、外部の専門家等と共に市の40事業に関して議論します。お時間がある方は是非ご参加ください！

日時：7/28(土)、29(日)9:00～17:25

28日は8:40から開会式、

29日は17:30から閉会式を行います。

場所：府中市役所北庁舎3階会議室

入退室自由ですので、お気軽にご参加ください。

●コミュニティデザインに関して

・質問要旨

「公共施設マネジメント」が公開され、老朽化した公共施設の維持・管理、耐震化等に費用が掛かる反面、経済状況や高齢化により扶助費は増え、投資的経費を削らねばならないという課題が浮かび上がり、今後の公共施設の在り方が問われています。

やみくもにハコモノを建てる時代は終わり、「限りある財産」を如何に有効利用するかを議論する

必要があります。市民の方にまちづくりに積極的に参加して頂く必要があり、お年寄りも若い人も、古くから住んでいる方も、新しく市民となった方も皆“府中に住むもの”としてまちづくりに参加できる仕組みづくりが必要です。

そこで、ハードのデザインをするだけでなく、「人のつながり」をデザインする「コミュニティデザイン」という考え方、手法を府中市でも取り入れる必要があるのではないかと考えています。

Q. まちづくりをする上で、コミュニティデザインの手法が有効と考えるが、市として「市民との協働」という観点で取り組んでいる施策は？

A. 市政の根幹となる第6次総合計画の策定を進める中で、公募市民と公募職員からなる「総合計画市民検討協議会」の場で検討いただいている。市政に関する計画の策定段階から市民の主体的な参加を基調とするこの手法は「市民との協働」の一つのモデルではないかと考えている。

Q. 文化センターでコミ協に事業運営を委託している一方、何の団体にも所属していない個人の方の参加は怎么样了か？

A. 文化センターまつり等、地域における交流の場として多くの市民の賑わう事業であり、そこにご参加頂く中でコミュニティ協議会の活動に関心を持って頂くとともに、活動のきっかけづくりにつながることを期待している。

・要望事項

まちづくりの三つの必要な「者」を、若いエネルギー、行動力を持つ「わかもの」、自由な発想と突破力のある「ばかもの」、第三者の視点を持つ「よそもの」と言われることがあります。

第三者の視点はとても大切です。時としてよそものが新しい気づきを与えてくれることもあります。

例えば文化センターの運営をコミ協や幅広い市民の方々に運営自体をお任せする等、色々な市民の方のご協力を得ながらの市政運営をしていくことが必要なのではないかと考えています。

「わかもの・ばかもの・よそもの」の垣根なく、様々な視点の意見を取り入れ、あるべき府中を創って頂きたい。



府中市議会議員・須山たかし プロフィール

1980(昭和55)年11月6日生まれ。

府中市晴見町育ち・在住。 明星幼稚園、桐朋小・中・高校、早稲田大学社会科学部卒業。早稲田大学大隈塾一期生。

民間の特許事務所に3年半勤めた後、政党本部スタッフ、参議院議員公設秘書など国政に従事。

蓮舫(れんぼう)参議院議員の秘書を務めた後、2011年府中市議会議員に初当選(52940票)。

文教委員会副委員長 再開発対策特別委員会委員

市民フォーラム所属

ご意見・ご要望等ございましたら、下記メールにご連絡下さい。

suyama1980@gmail.com

須山たかしHPもご覧ください！ <http://suyamatakashi.jp/>